

2008年2月5日

## 弊会が検査した「CO・OP手作り餃子」の新しい検出結果について

日本生活協同組合連合会

日本生協連がプライベートブランド商品として販売している「CO・OP手作り餃子40個入り(560g)」について、2007年11月10日に、コープあいづからのお申し出分(製造日2007年6月3日)について、改めて検査してありましたところ、本日、以下の検査結果が出ましたので、ご報告いたします。

2008年1月30日付け「お詫びとお知らせ」のとおり、「CO・OP手作り餃子40個入り(560g)」はすでに回収を進めているところです。

### <検出結果>

ジクロロボス	全量	10ppm
	皮	110ppm
	具	0.42ppm

なお、メタミドホスは検出しませんでした。

### 1. コープあいづ「COOP VALUE ふらざ」店職員からの苦情お申し出分

- ① 11月10日、「オイルのような臭いがきつくて食べられない」との「COOP VALUE ふらざ」店職員からの苦情をいただいたと、コープあいづから日本生協連に連絡がありました。(製造日2007年6月3日)
- ② コープあいづが、同生協「COOP VALUE ふらざ」店で店頭在庫の同一日付の商品を開封して点検したところ、異常はありませんでした。(下線部分は2/10付け緊急のお知らせ第14報で修正) コープあいづは、同生協「COOP VALUE にいでら」店でも確認したところ、同じような異臭がしました。そのため、コープあいづは、全店から同商品を引き上げました。

### <関連情報>

#### (1) みやぎ生協・富谷生鮮センター申し出分

- ① 10月5日(金)、弊会に以下の報告がありました。

#### <報告内容>

富谷生鮮センター内で当商品を仕分け作業中に、その担当者からアルコール系の臭いがしたとの申し出がありました。コープ東北サンネット事業連合が、同センター内在庫を点検したところ、異臭がついたケースが1ケースあったため中身を確認しました。確認の結果、1ケース(12袋入り)のうち5袋の包材に臭いが感じられました。その後、富谷セットセンターが袋の中の餃子を確認しましたが、異臭は確認できませんでした。しかし、異臭のある5袋については不良と判断し、出荷しないことにしました。(製造日2007年6月3日)

- ② コープ東北サンネット事業連合より、上記について、弊会東北支所に連絡がありました。弊会にて、弊会東北支所の当該商品在庫178ケースのうち、上記と同一日付在庫の2ケースと、製造日2007年6月19日と同7月3日分の各2ケースを検品しましたが、いずれも異臭はないことを確認しました。
- ③ 弊会では、流通過程での汚れ等の外的要因と判断し、通常通り出荷することとしました。

#### (2) コープ東北サンネット事業連合・みやぎ生協・共同購入組合員申し出分

- ① 10月31日、同組合員より、「10月8日に届いた商品を10月26日に開けたら、薬品のような変なにおいがした。焼いて少し食べてみたところ、薬品のような味がした」との申し出が、コープ東北サンネット事業連合を通じて弊会にありました（製造日2007年6月3日）。
- ② 弊会が取引先であるジェイティフーズに現品の確認を依頼しました。その結果、臭いは餃子よりも袋から強く感じられ、発生源は袋ではないかと推測したとの報告が弊会にありました。

## 2. 弊会による調査、検査の経過

- ① <関連情報>のとおり同様事例が発生していることから、弊会は、ジェイティフーズに対して詳細調査、検査を要請しました。11月20日、コープあいつ「COOP VALUE ぷらざ」店から回収された商品の食品環境検査協会でのガスクロマトグラフ検査結果として、トルエン、キシレン、ベンゼンが検出されたとの報告をジェイティフーズから受けました。
- ② なお、<関連情報>についてジェイティフーズは、製造工場（天洋食品）を訪問し聞き取り調査を実施しました。その結果、製造工場では、2007年6月3日製造時の製造記録の確認や保管サンプルの臭いを調査しましたが、異常はありませんでした。また、製造工場（天洋食品）から包材メーカーに対して聞き取りをしたところ、キシレン、ベンゼンの使用実態はありませんでした。トルエンについては、酢酸エチル、メチルエチルケトンとの混合溶液として仕入れ、使用されており、トルエン単体では使用されていませんでした。この検査では酢酸エチル、メチルエチルケトンが検出されなかったことから、包材工場内でのものではないと判断しました。
- ③ 弊会冷凍食品部にて、現地在庫（製造日2007年6月3日）と弊会国内在庫（製造日2007年1月20日、同1月28日、同6月3日、同6月18日、同7月27日、同9月18日）を開封して臭いの確認をしたところ、いずれも異常はありませんでした。
- ④ 3件の苦情は東北エリアのみで発生しており、出荷履歴から同時期に入庫されたものと推定されたこと、1件目のクレームの際にダンボールに油染みがあったとの情報があったことから、物流経路での何らかの外的な要因と判断し、調査を終了しました。

## 3. 千葉市での事件発生以降の経過

- ① 1月29日（火）、千葉県警から、市川事件についての報告を聞いた際に、弊会では、上記の東北エリアでの商品苦情（異臭）の件の経緯を、口頭で概略報告いたしました。翌日、関連する資料を提出しました。
- ② 兵庫県にて、メタミドホスが包材に付着していたことが判明したことから、2月1日（金）、弊会（渋谷、コーププラザ）の冷凍庫にコープあいつでの上記苦情商品の現品を保管している旨、渋谷保健所に電話し、必要なら提出の意志がある旨連絡しました。
- ③ 2月3日（日）、弊会より、千葉県警に、現品について、弊会検査センターで検査したい旨を連絡しました。警察からは弊会検査センターで検査するなら、検体については弊会で管理しても良いと言われました。
- ④ 2月4日（月）、弊会より、渋谷保健所に電話し、現品の処理について質問したところ「警察に申し出るように」との旨回答がありました。午後、弊会商品検査センター（埼玉県蕨市）にて検査開始しました。
- ⑤ 2月5日（火）、上記の検査結果が検出されましたので、千葉県警に連絡しました。

以上